

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成30年9月20日(2018.9.20)

【公表番号】特表2017-526779(P2017-526779A)

【公表日】平成29年9月14日(2017.9.14)

【年通号数】公開・登録公報2017-035

【出願番号】特願2017-510637(P2017-510637)

【国際特許分類】

C 0 8 F 10/10 (2006.01)

C 0 7 C 11/09 (2006.01)

C 0 7 C 5/27 (2006.01)

C 0 7 B 61/00 (2006.01)

【F I】

C 0 8 F 10/10

C 0 7 C 11/09

C 0 7 C 5/27

C 0 7 B 61/00 3 0 0

【手続補正書】

【提出日】平成30年8月8日(2018.8.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 8】

[ 実施例 3 ] 分子量が 1、0 0 0 の高反応性ポリブテンの重合

冷却装置付きのステンレス圧力反応器（ポリブテン重合反応器）に、下記表 7 に示すような組成の反応原料（C 4 混合物）および前記反応原料 1 0 0 重量部に対して 0 . 1 9 重量部であるイソプロピルアルコール / 三フッ化ホウ素錯体触媒（1 . 5 モル）を連続的に注入した。反応温度は - 1 8 、反応圧力は原料が液状を維持するように 3 k g / c m 2 以上に維持し、平均滞留時間は 3 0 分となるようにした。1 8 0 分が経過した後から、反応物は 5 重量 % の苛性ソーダ溶液で処理される中和槽および液相分離原理を利用して水で水洗する水洗槽を経た後、次いで、反応物を 1 6 0 の温度および常圧条件の C 4 蒸留塔に移送させて未反応 C 4 を除去し、除去された未反応 C 4 のうち一部は重合反応器の入口に再循環させて下記表 7 のイソブテンの濃度となるようにし、残りは異性化反応器（カラム）に投入した。反面、C 4 蒸留塔の下部を介して排出する反応物は、2 2 0 の温度および 5 m m H g 条件の L P 蒸留塔に移送された後、L P は L P 蒸留塔の上部を介して除去し、ポリブテンは L P 蒸留塔の下部を通して得た。製造されたポリブテンの分子量を G P C ( G e l p e r m e a t i o n c h r o m a t o g r a p h y ) で測定し、C 1 3 - N M R を利用して分析した結果を下記表 8 に示し、イソブテン転換率は 9 5 % 、ピニリデン含有量は 9 0 モル % であった ( M n = 9 7 0 、 P D = 1 . 3 2 ) 。なお、下記表 8 のポリブテンの生成量は、原料 1 k g を処理して得られたものである。